

作成日：2000年09月01日

改訂日：2016年07月01日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称：ショーボンドNS - 55V  
 会社名：ショーボンドマテリアル株式会社  
 住所：埼玉県川越市芳野台2 - 8 - 10  
 担当部門：品質保証課  
 電話番号：049(225)5611      F A X : 049(225)5616  
 緊急連絡先：品質保証課      電話番号：049(225)5611  
 理番号：NS - 55V - 04

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	分類対象外
健康に対する有害性：	急性毒性(経口)	区分5
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境に対する有害性：	水生環境急性有害性	分類できない
	水生環境慢性有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 飲み込むと有害のおそれ  
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
 重篤な眼の損傷  
 臓器の障害  
 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害  
 飲み込んで気道に侵入すると生命の危険のおそれ

注意書き

- 予防策: 熱 / 火花 / 裸火 / 高温のもののような着火源から遠ざけること。  
 屋外または換気の良い場所で使用すること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取り扱い後はよく手を洗うこと。  
 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。  
 粉塵 / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。  
 環境への放出を避けること。
- 対応: 火災の場合には、消化に粉末 / 炭酸ガス / 泡消火器を使用すること。  
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けんで洗うこと。  
 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。  
 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸のしやすい姿勢で休息させること。  
 下記の場合は直ちに医師の診断 / 手当を受けて下さい。  
 眼に入った場合、飲み込んだ場合、皮膚刺激が生じた場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合、暴露または暴露の懸念がある場合。  
 漏出物を回収すること。
- 保管: 容器を密閉し、換気の良い冷暗所で、施錠するなど関係者以外が立ち入れないような管理された場所で保管すること。
- 廃棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に、業務委託し廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名又は一般名 (成分)	化審法	CAS No.	濃度又は濃度範囲 (含有量%)	P R T R法	労働安全衛生法 通知物質57条2
ポルトランドセメント	登録済み	登録済み	75 ~ 85	該当しない	該当しない
酸化カルシウム	1-189	1305-78-8	1 ~ 10	該当しない	政令番号190
シリカヒューム	1-548	7631-86-9	1 ~ 10	該当しない	政令番号312

4. 応急措置

- 眼に入った場合: 多量の清浄な水で15分以上眼を洗浄した後、速やかに医師の診断を受ける。  
 洗浄の際は、まぶたを指でよく開き、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- 皮膚に付着した場合: 製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄した後、石鹸を使って洗い落とす。外観に変化がみられたり、痛みなどがある場合は医師の診断を受ける。
- 吸入した場合: 鼻をかみ、よくうがいをする。清浄な空気のある場所へ移動して安静にする。  
 必要に応じ医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中をすすいで水を飲ませた後、医師の診断を受ける。  
 吐かせないで医師の指示に従う。意識がない場合は口からなにも与えない。

5. 火災時の措置

消火剤： 当製品は不燃性粉体の為、周囲の貯蔵品の種類により消火方法を決定する。  
 使ってはならない消火剤： 注水は飛散防止に配慮する。  
 特有の消火方法： 水スプレー、水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤等。  
 消火を行う者の保護： 情報なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 漏出した製品を回収する際は、保護手袋、保護眼鏡、防塵マスク等の保護具を着用し、なるべく粉塵を吸入・接触しないようにする。  
 環境に対する注意事項： 製品のまま、また、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。  
 回収・中和： 真空掃除機、ショベル、ほうきなどで、できる限り集めて空容器に回収し、残りは多量の水で洗い流す。  
 封じ込み及び浄化の方法・機材： できるだけ粉塵を立てないようにする。  
 二次災害の防止策： 洗浄水は、アルカリ性を呈するので、必要に応じて中和や希釈の処置をとり、直接河川等へ流さないようにする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策： セメントと同様、粉塵を吸入したり眼に入らないように適切な保護具を着用する。皮膚や粘膜に触れないようにする。取扱い後は、眼、顔、手等をよく洗う。  
 局所排気・全体換気： 換気のよい場所で扱う。  
 安全な取扱い注意事項： 使用前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
 水のかからない場所で取り扱う。  
 作業終了後は、手洗い、うがいを十分に行う。  
 接触回避： 「10.安定性及び反応性」を参照。

保管：

技術的対策： 吸湿性があるため、湿気を多い場所や屋外での保管は、避ける。  
 保管条件： 屋外では屋根や日よけを設ける。  
 混触禁止物質： 「10.安定性及び反応性」を参照。  
 容器包装材料： 密閉可能な容器。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

屋内で扱う場合は、粉塵を許容濃度以下にするため、排気装置等の排気のための装置を設置する。  
 多量に扱う場合は、集塵機を設置する。  
 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

許容濃度

管理濃度： 普通ポルトランドセメント： 1.3mg/m<sup>3</sup>(遊離けい酸：2.2%の時)  
 許容濃度： 日本産業衛生学会 第2種粉塵 吸入性粉塵 1mg / m<sup>3</sup>  
 総粉塵： 4mg / m<sup>3</sup>

保護具

呼吸器の保護具： 防塵マスク  
 手の保護具： 保護手袋  
 眼の保護具： 保護メガネ  
 皮膚及び身体の保護具： 化学薬品が浸透しにくい作業衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状等:	粉状
色:	灰白色
臭い:	特になし
pH:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	- 以上
燃焼または爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	データなし
蒸気密度:	データなし
比重:	-
溶解度:	微量溶解
オクタノール/水分配係数:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
その他情報:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	常温、常圧で安定。
反応性:	水分と接触すると水和反応を起こし発熱する。
避けるべき条件:	多湿状態での保管。
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解性生物:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性 経口:	区分5	飲み込むと有害のおそれ
成分情報:	酸化カルシウム[区分5]	
経皮:	分類できない	
吸入:	分類できない	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分1	重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
成分情報:	酸化カルシウム[区分区分1C]	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	区分1	重篤な眼の損傷
成分情報:	酸化カルシウム[区分1]	
呼吸器感作性:	分類できない	
皮膚感作性:	分類できない	
生殖細胞変異原性:	分類できない	
発がん性:	分類できない	
生殖毒性:	分類できない	
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分1	臓器の障害
成分情報:	酸化カルシウム[区分1]	
特定標的臓器毒性(反復暴露):	区分1	長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
成分情報:	酸化カルシウム[区分1]	
吸引性呼吸器有害性:	区分1	危険
成分情報:	酸化カルシウム[区分1]	

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	分類できない
水生環境慢性有害性:	分類できない

生態毒性:	
魚毒性:	現在のところ知見なし
残留性 / 分解性:	分解しないが、水と反応してアルミネート水和物その他の水和物を生成する。 接触した水は、アルカリ性(PH12~13)のため、環境への影響には注意する。
生体蓄積性:	情報なし
土壤中の移動性:	情報なし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物(セメント類)として許可を受けた専門業者に委託する。  
 容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に処分する。  
 容器、機械装置等を洗浄した排液等、地面や排水溝へ流さないこと。  
 洗浄に使用した水は「水質汚濁防止法」等の法令に適合するようにして処理する。

14. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。  
 破袋に注意。転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法による。  
 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  
 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。  
 国連分類: 該当なし  
 国連番号: 該当なし

15. 適用法令

消防法:	不燃物	
毒物及び劇物取締法 :		該当しない
労働安全衛生法 通知物質57条2(通知対象物):	酸化カルシウム	(政令番号190)
	シリカヒューム	(政令番号312)
施行令第18条 名称を表示すべき有害物:		該当しない
有機溶剤中毒予防規則:		該当しない
化学物質管理促進法:		該当しない
化審法:		該当しない

16. その他の情報

注意事項:

本データは、工業的な一般的取扱いに際しての、安全な取扱いについて最新の情報を集め、記載したものです。必ずしも充分とはいえないので取扱いには充分注意して下さい。  
 新たな情報を入手した場合は、追加または改訂されることがあります。  
 本製品の取扱いに記載されている以外の他の化学物質を混ぜたり、特殊な条件で使用するときは、ユーザーが安全性の評価を実施してください。

参考文献

- 1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場の表示及び安全データシート(SDS):JIS Z 7253:2012)
- 2) GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- 3) 原材料 / 製品メーカー SDS